

1.3.1.1_07

「見る」 尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

<1> 「見る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現(P2)

<2> 「見る」の尊敬語表現 (P3)

<3> 「見る」の謙讓語表現 (P4～P5)

<4> 参考出典情報 (P6)

1.3.1.1_07「見る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



「見る」の尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現

基本形

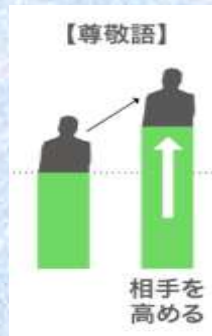
見る

敬意を表す
方向

使用方法

尊敬語

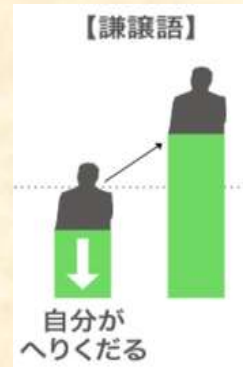
ご覧になる、
見られる



- ・相手を自分より上におき、相手を尊ぶことで敬意を表す。
- ・主に、目上の方や上司、お客様などに対する言葉遣いとして用いられる。(自分ではない人の行動に使用する。)

謙讓語

拝見する、
見せていただく



- ・自分を相手より下におき、自分がへりくだることで敬意を表す。
- ・主に、自分側の行為などについて述べ、その行為が向かう先の相手を敬う言葉遣いとして用いられる。(自分の行動に使用する。)

丁寧語

見ます



- ・自分と相手に上下の関係はなく、丁寧な表現を使って敬意を表す。
- ・相手にも自分にも使える。



1.3.1.1_07「見る」尊敬語、謙譲語、丁寧語の違い

「見る」の尊敬語表現：「ご覧になる」、「見られる」

◇「見る」の尊敬語は、「ご覧になる」「見られる」という表現になります。

※敬意の度合い高さ順位：「ご覧になる」>「見られる」

- ・「ご覧になる」の方が、「見られる」と比べ、より丁寧な表現です。
- ・「見られる」は「ご覧になる」よりも、少しフランク(率直)な言葉です。より丁寧に伝えたい場合には「ご覧になる」を使いましょう。
- ・「見られる」は、尊敬語として、受け身としても使われる表現ですので、使い分けに注意しましょう。

◇「ご覧になられる」は二重敬語で、NGです。

- ・「見る」の尊敬語の「ご覧になる」ですが、これをより丁寧にしようとして「ご覧になられる」というのは間違った使い方になります。同じ言葉に同じ種類の敬語を2度使うのは誤りとされています。

◇「ご覧になる」は、「ご覧ください」や「ご覧いただけますか」など形を変えて使うことができます。

バスガイドさんがバスに乗車しているお客さんに敬意を表して、「ご覧くださいませ」という尊敬表現を使っています。この語尾の「ませ」という表現は、「○○してください」と言うだけでは、命令口調に近くなってしまう言葉を、柔らかい表現に変えることができます。

—「ビジネス敬語」から引用

<https://jinzai.or.jp/34397>

注意

例文：

- ・自由にご覧になってください。
- ・お手すきの際にご覧いただければと存じます。
- ・先生、昨日の花火は見られましたか？
- ・先日お渡しした資料はご覧になりましたか？
- ・前方にある画面をご覧ください。

「見る」のより丁寧な表現

「見る」の敬語に関しては、より丁寧な表現もありますが、日本人でも使っている人はあまりいないようです。

◆高覧(こうらん)

他人が見ることの尊敬語。

→資料をお送り致しますので、ご高覧ください。

◆笑覧(しょうらん)

他人に見てもらうことの謙譲語。「笑いながら見る程度のものです」という謙遜の表現。

→お立ち寄りの際は、ぜひご笑覧ください。



1.3.1.1_07「見る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「見る」の謙讓語表現：「拝見する」、「見せていただく」

◇「見る」の謙讓語として「拝見する」「見せていただく」との表現があります。

- ・目上の人からもらう資料や、目上の人と話していて自分が見ることや見るものを表現するときに「拝見する」「見せていただく」という言葉を使います。
- ・「拝見する」「見せていただく」は丁寧な印象がありますが、あくまで謙讓語なので、自分が「見る」ときに使います。
- ・「見せていただく」は「拝見する」よりフランク(率直)な言い方です。

◇「拝見させていただく」は二重敬語で、誤用です。

「拝見させていただく」は「拝見」+「させていただく」で、両方とも謙讓語で、二重敬語になり、間違った敬語表現で、使わないように気をつけましょう。

ー「ビジネス敬語」から引用

<https://iinzaai.or.jp/34397>

- 例文：
- ・私が資料を拝見します。
 - ・拝見しましたが、おかしなところは見当たりませんでした。
 - ・貴社のホームページを拝見し、商品Aについて、詳しくお話を伺いたいと思い、連絡いたしました。
 - ・社長から届いた招待状を見せていただきました。

「拝見いたしました」「拝見させていただきます」は二重敬語でNGです

◇「拝見いたしました」は文法的に正しい使い方ではありません。正しいのは「拝見します」になります。

- ・「拝見」は「見る」の謙讓語であり、さらに「いたしました」も「する」の謙讓語であるため、2つを重ねてしまうと二重敬語になります。二重敬語は、相手に丁寧すぎる印象を与えることや回りくどい表現になることから良くないとされています。同じ理由で「拝見いたします」、「拝見させていただきます」も当てはまります。
- ・しかし、実際のビジネスの現場では「拝見いたしました」も「拝見いたします」も日常的に使われています。文法的には正しくはありませんが、受け手が不快に感じることは少なく、ビジネスシーンで使用する上で問題はありせん。

ー「言葉の使い方」から引用

<https://docoic.com/5536>



1.3.1.1_07「見る」尊敬語、謙譲語、丁寧語の違い

「見せていただく」と「見させていただく」の違い

◇「見せていただく」と「見させていただく」二つとも、見るの謙譲語として文法的には正しいです。二重敬語ではありません。

- ・「見せていただく」⇒動詞「見せる」の連用形＋接続助詞「て」＋謙譲語「いただく」
- ・「見させていただく」⇒動詞「見る」の未然形＋使役の助動詞「させる」＋謙譲語「いただく」

◇「見せていただく」も「見させていただく」も、敬語として問題ないわけですが、意味に若干の違いがあるため、気をつけるといいです。

- ・ここで、「見せて頂く」はあくまでこちらから目上の人に対して「見せて欲しい」気持ちがあるときに使うものです。
- ・一方で、「見させていただく」は目上の方があなたに対して見てもらいたいと頼んできた際に、使用する言葉なわけです。
- ⇒よって、どちらを使うにしても場面での使い分けをきちんと行うといいです。

－「正しい日本語/敬語」から引用

<https://life-freedom888.com/misete-itadaku/>

「見る」の言い換え表現

敬語は別の表現に言い換えればより自然に言い表せる場合もあります。
「見る」の言い換え表現としては、以下のような言葉遣いはいかがでしょうか。

◆会議までに、相手に書類をチェックしておいて欲しいとき
→事前にお目通しいただければ幸いです。

◆メールに添付したファイルを確認して欲しいとき

→添付ファイルにて、次回会議のアジェンダをお送りしております。**ご査収のほど**、よろしくお願い致します。

－「ビジネス敬語」から引用

<https://jinzai.or.jp/34397>

「ご確認のほど」でもOKだが、
「ご査収のほど」の方がより丁寧
(使いこなせるとカッコいい)

1.3.1.1_07「見る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

☞ 「見る」の丁寧語表現：「見ます」

「見る」の丁寧語は「見ます」です。尊敬語や謙讓語のように目上の人との会話以外でも、幅広く使われます。
ー「ビジネス敬語」から引用
<https://jinzaii.or.jp/34397>

例文：・弟がテレビを見ます。
・彼女と一緒に映画を見ます。
・今日は食後にテレビを見ます。

☞ 参考出典情報

<1>「見る」の正しい敬語は？【尊敬語・謙讓語・丁寧語】

<https://jinzaii.or.jp/34397>

<2>「拝見」の正しい意味と使い方 拝見いたしますはただしいのか

<https://docoic.com/5536>

<3> 見せていただく」「見させて頂く」「拝見させて頂く」「おっしゃっていただく」は正しい日本語なのか？

<https://life-freedom888.com/misete-itadaku/>

<4>「見る」の敬語表現は？ 尊敬語・謙讓語・丁寧語と例文

<https://biz.trans-suite.jp/4496>

<5> 「ご覧になる」の意味と使い方・敬語の種類・類語 | 拝見する

<https://tap-biz.jp/business/honorific/1053061>

